

環境微生物検査用

ぺたんチェック® II 25

【使用目的】

環境微生物を制御するためには、微生物汚染の実態を調査把握し、汚染経路や汚染要因を明らかにし、改善策を立てて実施するとともに、日常の定期的な調査や従業員教育等の微生物管理を行うことが必要です。

環境微生物試験法のコンタクト(接触)平板培地は、培地表面積が国際規格化されました¹⁾。また、第十七改正日本薬局方に参考情報として収載されています²⁾。

本製品は、培地表面積が約25cm²を有するコンタクト平板培地です。培地は凸状に盛り上がっていますので、平滑な物体表面に直接触れさせて付着菌を移し取り、培養後発育した集落を一定面積あたりの菌数として計測します^{1)~4)}。

目的に応じて各種の培地を取り揃えました。

手軽で簡単に検査ができますので、日常の微生物管理にお勧めいたします。

【機構及び特徴】

1. 器具、培地調製等の事前準備が不要です。
2. スタンプ培地ですので、一人で操作が簡単にできます。
3. 単位面積あたりの菌数測定が容易にできます。
4. 汚染実態の把握、消毒殺菌効果判定が肉眼でできます。
5. 汚染菌の有無の判定ができます。
6. フタがロックできます。ぺたんチェック® II 25 を運ぶ際の落下等による検体の損失を防止できます。

【使用方法】

1. ご使用の前に十分室内温度に戻したうえでご使用ください。
2. シャーレのフタを取り外し、培地面を検査材料の表面に軽く押しつけます。
3. 再びフタをし、フタに検査材料名を記入します。
4. 恒温器にシャーレのフタを下にして入れ、所定の時間培養します。培養温度、培養時間の詳細は下記の判定方法をご確認ください。
5. 発育した集落数を数え、単位面積25cm²あたりの集落数を算出します。
集落数が多いときには、シャーレ本体の区画(1区画: 1cm²)を利用します。
6. 培地上に発育した集落数から検査材料の汚染度を評価することができます。
しかし、判定基準とその評価は、個々の目的に応じて自主的に設定します。
7. ペたんチェック® II 25 を運ぶ場合は、フタを右回りにロックしてご使用ください。

【判定方法】

製品名	使用目的	培養条件	確認する集落
ぺたんチェック® II 25 標準寒天培地	生菌数測定用	35~37°C 24~48 時間	発育した全ての集落
ぺたんチェック® II 25 デスオキシコレイト培地	大腸菌群用	35~37°C 18~22 時間	混濁した赤色集落(大腸菌群)
ぺたんチェック® II 25 ES コリマーク寒天培地	大腸菌・大腸菌群用	35~37°C 18~22 時間	青から青紫色集落(大腸菌) ピンクから赤紫色集落(大腸菌以外の大腸菌群)
ぺたんチェック® II 25 卵黄加マンニット食塩培地	黄色ブドウ球菌用	35~37°C 24~48 時間	発育集落の周囲に乳黄色の白濁環を形成 (黄色ブドウ球菌)
ぺたんチェック® II 25 TCBS 寒天培地	腸炎ビブリオ用	35~37°C 18~24 時間	緑色集落(腸炎ビブリオ)
ぺたんチェック® II 25 MLCB 寒天培地	サルモネラ属菌用	35~37°C 18~24 時間	中心部が黒色の集落(サルモネラ属菌)
ぺたんチェック® II 25 CP 加ポテトデキストロース寒天培地	食品真菌用	20~25°C 5 日間以上	発育した真菌の集落
ぺたんチェック® II 25 サブロー寒天培地	真菌用	20~25°C 5 日間以上	発育した真菌の集落
ぺたんチェック® II 25 トリプトソイ寒天培地	生菌数測定用	30~35°C 24~48 時間	発育した全ての集落
ぺたんチェック® II 25 SCDLP 寒天培地	生菌数測定用	30~35°C 24~48 時間	発育した全ての集落
ぺたんチェック® II 25 NAC 寒天培地	緑膿菌用	35~37°C 18~24 時間	黄緑色から青色まれに褐色の発育集落(緑膿菌)

【取扱い上(危険防止)の注意】

全ての操作は微生物の取扱いに習熟した人の指導のもとに、バイオハザード対策を実施したうえで行ってください。

【使用上の注意】

1. 本製品は汚染度を評価するためのものであり、培地上に発育した集落数は拭き取り法の結果とは必ずしも一致しません。
2. 検査材料の表面が平滑でない、大量の水分や油脂が付着しているものは使用することができません。
3. 布等の検査材料は培地成分のしみがつく恐れがありますので、注意してご使用ください。
4. スタンプした後の検査材料の表面は、培地成分が付着していますので、酒精綿等で拭き取ってください。
5. 容器内に水滴が付着しているときには、2～3時間室温に放置するか、又は軽く振って落としてください。
6. 雑菌汚染、変色、乾燥、くずれ、はがれ等、品質低下が認められる場合には使用しないでください。
7. 測定対象菌種の存在が疑われる場合は、必要に応じて同定してください。
8. 培地は所定の貯蔵方法で保存してください。
9. 開封後やむを得ず保存する場合は、培地の水分が蒸発しない方法を施したうえで指定の貯蔵方法で保存してください。
10. MLCB 寒天培地(PK0006)には析出が発生することがありますが、性能に影響はありません。
11. NAC 寒天培地(PK0011)に白い物質が見られる場合がありますが、性能に影響はありません。
12. フタにロック機構がついていますが、納品時はロックされていません。フタの落下にご注意ください。

【廃棄上の注意】

1. 使用済みのべたんチェック® II 25 は速やかにオートクレーブ等で滅菌処理した後、廃棄してください。
2. べたんチェック® II 25 のシャーレはポリスチレン(PS)、袋はナイロンとポリエチレン(PE)、ケースは紙を主な材質としています。

【貯蔵方法】

2～10℃(遮光、禁凍結)

【包装単位】

10枚×4

【略号・培地色調・有効期間・製品コード】

製品名	略号	培地色調	有効期間	製品コード
べたんチェック® II 25 標準寒天培地	PCA	淡黄褐色	6カ月間	PK0001
べたんチェック® II 25 デスオキシコーレイト培地	DESO	赤褐色	4カ月間	PK0002
べたんチェック® II 25 ES コリマーク寒天培地	ESCM	淡黄色	5カ月間	PK0003
べたんチェック® II 25 卵黄加マンニット食塩培地	MSEY	黄赤色	4カ月間	PK0004
べたんチェック® II 25 TCBS 寒天培地	TCBS	緑色	6カ月間	PK0005
べたんチェック® II 25 MLCB 寒天培地	MLCB	紫色	4カ月間	PK0006
べたんチェック® II 25 CP 加ポテトデキストロース寒天培地	CPPD	淡黄白色	6カ月間	PK0007
べたんチェック® II 25 サブロー寒天培地	SAB	淡黄褐色	6カ月間	PK0008
べたんチェック® II 25 トリプトソイ寒天培地	SCD	淡黄褐色	6カ月間	PK0009
べたんチェック® II 25 SCDLP 寒天培地	SCDL	淡黄褐色	6カ月間	PK0010
べたんチェック® II 25 NAC 寒天培地	NAC	淡黄白色	6カ月間	PK0011

【主要文献】

1. ISO 14698-1 Cleanrooms and associated controlled environments
Biocontamination control Part 1: General principles and methods, 18, 2003.
2. 日本薬局方解説書編集委員会: 第十七改正日本薬局方解説書, (株)廣川書店, 東京, F-210-F-222, 2016.
3. Ten Cate L.: J. Appl. Bact., 28(2): 221-223, 1965.
4. Hall L. B., et al: Public Health Rep., 79(11): 1021-1024, 1964.

【問い合わせ先】

栄研化学株式会社 お客様相談窓口
フリーダイヤル ☎ 0120-308-421

製造販売元



栄研化学株式会社

栃木県下都賀郡野木町野木 143 番地